

定額減税にかかる調整給付金の申請はお済みですか？

調整給付金について

納税者及びその配偶者を含めた扶養親族1人につき、令和6年度の所得税から3万円、令和6年度分の住民税所得割から1万円が定額減税されますが、減税しきれない額が発生すると見込まれる方には、調整給付金が支給されます。

申請方法

対象となる方には、7月中旬頃に市から支給通知書または支給確認書を送付しています。8月末までに支給確認書を市へ返送いただいていない方には9月中旬に再度市から送付しますので、早めの返送をお願いします。

支給確認書提出期限

10月31日(木)

◎問い合わせ：

二本松市調整給付金コールセンター(フリーダイヤル)
☎0120(793)560
または税務課市民税係
☎(55)5085
Fax(22)0790

二本松市グリーンフィールド無料開放デー



施設の利用促進を図るため、毎月1回「一般市民無料開放デー」として施設の無料開放を行います。

無料開放日

原則毎月第3水曜日の

①午前9時～正午

②午後1時～4時

※令和6年度の無料開放日

9月18日・10月16日

11月20日・12月18日

1月15日・2月19日

3月19日

※第3水曜日が祝祭日又は年間予約がされている等の場合は、別の平日を指定します。

対象 二本松市民

(団体利用も可)

使用可能コート

①人工芝コートA

②人工芝コートB

③アップコート

申込方法

下記窓口まで直接お申し込みください。

※電話での予約はできません。

※午前8時30分～午後5時15

分まで(土日祝日を除く)
受付期間

使用日前月の1日から使用

日の前日まで

◎問い合わせ・申し込み：

生涯学習課スポーツ推進係

☎(62)7067

Fax(22)7171

または岩代公民館

☎(55)2260

Fax(55)2070

二本松市空家除却費補助事業の追加募集

老朽化が著しい空家の解体に必要な費用の一部を補助金として交付します。市が現地の調査を行った上で決定しますので、事前にご相談ください。

補助金額 最大50万円(解体

工事費の2分の1)

募集戸数 2戸程度

申請期限 9月27日(金)

※事前調査が必要になります。

(調査後、対象となる場合に

申請となります。)

※事前相談には建物の外観写真をお持ちください。

※交付決定前に着手した工

事は対象となりません。

※年度内に工事を完了する必要があります。

◎問い合わせ・申し込み：

建築住宅課住宅係

☎(55)5133

Fax(23)1197

空き家を所有する方へ
空き家バンクを利用しませんか？

空き家バンクとは、市内にある空き家について、賃貸および売却を希望する所有者から物件の提供を求め、市の「空き家バンク」に登録した情報を、ウェブサイトで公開し、空き家の利用を希望される方へ提供するものです。

空き家の有効活用を促進すること、管理不全空き家の発生防止にもつながります。

また、空き家を利用し、居住を考えている方のご相談にも応じます。空き家バンクの登録は無料です。

市では仲介・契約に関する業務を行っていませんが、宅地建物業取引協会安達支部に手続きを依頼することができます。

※事前相談には建物の外観写真をお持ちください。

遺産相続・土地と建物の名義変更

いぬい

乾亮太郎 司法書士事務所

義務化された相続登記のご相談を承ります。

本宮市本宮字南町裡143-1(サンライズもとみや前)

☎0243-24-9913

夜間・休日・出張相談可(要予約)お気軽にお電話ください



◎問い合わせ：

秘書政策課総合政策係

【移住相談窓口】

☎(24)7120

Fax(22)7023

新しい農業委員、農地利用最適化推進委員が決まりました

任期満了に伴い、農業委員18人、農地利用最適化推進委員19人が決まりました。

農業委員、農地利用最適化推進委員の方々と担当地区を紹介します。(敬称略。カッコ内は担当地区)

任期 8月1日

令和9年7月31日

農業委員会会長

佐藤 勝則

農業委員会会長職務代理者

石川 重彦 (木幡)

農業委員

松本 太 (二本松・岳下)
菅野 一紀 (塩沢)
橋本 政治 (岳下)
佐藤 浩 (岳下)
川口 美奈子 (石井・大平)
齋藤 政治 (油井)
阿部 正彦 (渋川)
安齋 秀明 (上川崎)
佐藤 孝 (下川崎)
遠藤 伝栄 (小浜)
遠藤 康子 (新殿)
大内 和長 (新殿)
齋藤 隆博 (旭)
菅野 秀和 (針道)

農地利用最適化推進委員

菅野 正寿 (太田)
佐藤 美由紀 (戸沢)
大石 忠雄 (二本松・塩沢)
菊地 清吉 (岳下)
佐藤 洋三 (岳下)
根本 満 (岳下)
國分 一重 (杉田)
菅野 佐太克 (石井)
渡邊 一正 (大平)
菅沢 政隆 (油井)
渡邊 孝彦 (渋川)
安齋 菊雄 (上川崎)
菅野 稔 (下川崎)
三浦 一也 (小浜)
佐藤 薫 (新殿)
佐久間 栄吉 (新殿)
菅野 正信 (旭)
大野 美和子 (針道)
佐藤 安弘 (木幡)
菅野 哲雄 (太田)
本多 雅彦 (戸沢)

敬老記念品を贈呈

高齢者の皆さんの長寿をお慶び申し上げます。

喜寿、米寿、白寿の方に記念品を贈呈します。

対象者(二本松市に住所のある方)

・喜寿(77歳)

昭和22年4月2日～23年4

月1日までに生まれた方

・米寿(88歳)

昭和11年4月2日～12年4

月1日までに生まれた方

・白寿(99歳)

大正14年4月2日～15年4

月1日までに生まれた方

贈呈時期・方法

9月9日～30日の間にゆうパックでお届けします。

その他

市内の特別養護老人ホームに入所中の方については、施設を通して贈呈します。

◎問い合わせ:

高齢福祉課長寿福祉係

☎(55)5114

Fax(22)1547

市民が主役。

市長からの手紙

二本松市「市民の翼」

中学生海外派遣事業

二本松が生んだ世界的歴史学者・朝河貫一博士の縁で、二本松市とハノーバー町とで平成11年7月30日に友好都市の提携調印をし、友好関係を深めてまいりました。

7月26日から8日間、二本松市「市民の翼」中学生海外派遣事業を5年ぶりに実施することができました。

この事業の目的としては、朝河貫一博士に縁がある大学を訪問し、博士の業績を学び、アメリカの市民生活や教育、歴史、産業、文化等について理解を深め、将来、国際的な視野に立つて社会活動に参加できる人材を育成することです。

ハノーバー町では町民の皆様との交流やホームステイを体験し、ホストファミリーの皆様から心温まる歓迎を頂き、アメリカの市民生活や文化などを肌で感じ、友好交流を深めることができました。

朝河博士が学び、教鞭をとられたダートマス大学や、朝河博士が日本人で初の大学教授になられたイェール大学で



二本松市長 三保 恵一

は、図書館等に展示されている直筆の書簡や手紙を拝見し、国際的に高く評価されている博士の偉業について認識を深めました。

ニューヨーク市内では、タイムズスクエアやメトロポリタン美術館、国連本部などを見学し、現地の大学生との交流を図り、異文化に触れる有意義な機会となりました。

中学生の皆さんが積極的に行動され日米の友好の架け橋として立派に役割を果たしてくれたことを逞しく思うとともに、この体験をこれからの人生で活かし、社会で活躍できるように願っております。

国際平和を誰よりも強く望んだ不滅の歴史家・朝河貫一博士の高い志と広い学識に学び、その成果を今後の二本松市の教育と人づくりに活かし、平和を願った交流の芽や「市民の翼」で芽生えた国際的な視野、感覚を育み、国際交流都市二本松の発展を目指してまいります。

世界の平和と繁栄、人類のしあわせを祈りながら。